

昭和五十六年十月招集

第四回館山市議會臨時會會議錄

館山市議會

目次

日時	場所	出席議員	欠席議員	出席説明員	出席事務局職員	議事日程	開會	議長の報告	会議録署名議員の指名	会期の決定	議案第五十三号、議案第五十四号	提案理由の説明	古賀礼四郎君の質疑、当局の応答（議案第五十三号）	神田 守隆君の質疑、当局の応答（議案第五十三号）	委員 会付託の省略（議案第五十三号）	委員 会付託の省略（議案第五十四号）	採決（議案第五十四号）	採決（議案第五十四号）	閉會	本日の会議に付した事件
――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――
一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	三	五	六	六	六	六	七	七

昭和五十六年十月二十九日（木曜日）午前十時		館山市役所議場		出席議員 二十五名	
一	一番	神田 守隆	二番	石 井 謙	
二	二番	横 溝 功	三番	石 井 勤	
三	三番	古 賀 礼四郎	四番	石 井 昌 治	
四	四番	松 下 正 己	五番	林 好 雄	
五	五番	栗 原 一 雄	六番	近 藤 幸 太郎	
六	六番	渡 辺 昭 夫	七番	伊 藤 幸 太郎	
七	七番	黒 川 平 治	八番	流 山 源 次郎	
八	八番	石 井 輝 久	九番	石 井 武 敏	
九	九番	吉 田 勇 治郎	一〇番	藤 田 益 治	
一〇	一〇番	菊 井 敏 博	一一番	和 田 一 郎	
一一	一一番	五十嵐 昇	一二番	伊 賀 多 朗	
一二	一二番	石 井 正	一三番	安 澤 徳 順	
一三	一三番	安 西 益 男	一四番	三〇番 山 口 康	
一四	一四番	欠席議員 二名	一五番		
一五	一五番	出席説明員	一六番		
一六	一六番	市 長 半 澤 良 一	一七番		
一七	一七番	収入 役 太 田 博 雄	一八番		
一八	一八番	総務部長 石 田 雄 一	一九番		
一九	一九番	出席事務局職員	二〇番		
二〇	二〇番	事務局 長 高 尾 豊	二一番		
二一	二一番	書記 兵 藤 恭 一	二二番		
二二	二二番	事務局 長 補 佐 熊 谷 吉 雄	二三番		
二三	二三番	書記 鈴 木 哲	二四番		
二四	二四番	市長公室 長 斎 藤 武 男	二五番		
二五	二五番	民生部 長 鈴 木 力	二六番		
二六	二六番	助 役 小 倉 澄 男	二七番		
二七	二七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	二八番		
二八	二八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	二九番		
二九	二九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三〇番		
三〇	三〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三一番		
三一	三一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三二番		
三二	三二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三三番		
三三	三三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三四番		
三四	三四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三五番		
三五	三五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三六番		
三六	三六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三七番		
三七	三七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三八番		
三八	三八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	三九番		
三九	三九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四〇番		
四〇	四〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四一番		
四一	四一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四二番		
四二	四二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四三番		
四三	四三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四四番		
四四	四四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四五番		
四五	四五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四六番		
四六	四六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四七番		
四七	四七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四八番		
四八	四八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	四九番		
四九	四九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五〇番		
五〇	五〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五一番		
五一	五一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五二番		
五二	五二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五三番		
五三	五三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五四番		
五四	五四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五五番		
五五	五五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五六番		
五六	五六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五七番		
五七	五七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五八番		
五八	五八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	五九番		
五九	五九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六〇番		
六〇	六〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六一番		
六一	六一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六二番		
六二	六二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六三番		
六三	六三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六四番		
六四	六四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六五番		
六五	六五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六六番		
六六	六六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六七番		
六七	六七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六八番		
六八	六八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	六九番		
六九	六九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七〇番		
七〇	七〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七一番		
七一	七一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七二番		
七二	七二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七三番		
七三	七三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七四番		
七四	七四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七五番		
七五	七五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七六番		
七六	七六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七七番		
七七	七七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七八番		
七八	七八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	七九番		
七九	七九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八〇番		
八〇	八〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八一番		
八一	八一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八二番		
八二	八二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八三番		
八三	八三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八四番		
八四	八四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八五番		
八五	八五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八六番		
八六	八六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八七番		
八七	八七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八八番		
八八	八八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	八九番		
八九	八九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九〇番		
九〇	九〇番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九一番		
九一	九一番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九二番		
九二	九二番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九三番		
九三	九三番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九四番		
九四	九四番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九五番		
九五	九五番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九六番		
九六	九六番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九七番		
九七	九七番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九八番		
九八	九八番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	九九番		
九九	九九番	市 長 公 室 長 斎 藤 武 男	一〇〇番		

書 記 石 井 一 夫 書 記 嶋 田 範 夫

一、議事日程

昭和五十六年十月二十九日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 議案第五十三号 財産の取得について

議案第五十四号

昭和五十六年度館山市一般会計補正

予算（第五号）

開

会 午前十時五十九分開会

○議長（林 豊君） 本日の出席議員数二十五名、これより昭和五十六年第四回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（林 豊君） 本臨時会議案審議のため、地方自治法第二百一十一条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

議案の配付

○議長（林 豊君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（林 豊君） 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。八番議員石井昌治君、二五番議員五十嵐 昇君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（林 豊君） 日程第二、会期の決定を行います。

本臨時会の会期につき、議会運営協議会の意見は本日一日ということがあります。

お諮りいたします。会期を本日一日と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって会期は本日一日と決定いたしました。

議案の上げ

○議長（林 豊君） 日程第三、議案第五十三号財産の取得について及び議案第五十四号昭和五十六年度館山市一般会計補正予算を一括して議題といたします。

提案理由の説明

○議長（林 豊君） これより各議案の提案理由の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに急ぎ、第四回市議会臨時会を

招集いたしましたところ、議員の皆さま方におかれましては御多忙の中を御出席賜り誠にありがとうございます。

今回、急施を要する案件として御審議をお願いいたします案件は、一般議案一件並びに補正予算一件であります。

まず、議案第五十三号財産の取得についてであります。コミュニティ施設用地につきましては、かねてから館山市開発公社で買収を進めてまいりましたが、一部を除きおむね買収ができ、あるいは賃借ができる見込みとなりましたので、市で取得しようとするものであります。取得場所は、館山市北条字小作七四〇番の一ほか七十八筆、面積は四万八千八百五十四・〇平方メートルで、館山市開発公社から予定価額七億四千五百五十二万四千五百八十六円をもって取得しようとするものであります。

次に、議案第五十四号昭和五十六年度館山市一般会計補正予算（第五号）であります。歳入歳出の総額を一億三千三百五十七万千円減額し、歳入歳出それぞれ九十一億六千六百四十七万四千円とするものであります。

この歳出につきましては、かねてから委託しておりましたコミュニティ施設用地の造成等工事の設計ができ上がりましたので、この工事請負費として五千六百十九万円及びこの工事に伴う監理委託料として百八十五万円の追加補正並びに用地購入費のうち不用見込額一億七千六百一十一万千円の減額補正をお願いするものであります。

また、歳入の補正としましては、当初コミュニティ施設用地購入及び衛生センター建設に伴い、財政調整基金からの繰り入れを一億四千万円予定しましたが、コミュニティ施設用地購入費の減

額及び前年度繰越金のうち予算未計上額がございますので、繰入金を一億四千万円減額し、繰越金で二千六百四十二万九千円を追加計上しようとするものであります。

なお、造成等工事につきましては、工事期間が翌年度にまたがりますので、昭和五十七年度中の工事請負費八千六十八万円、監理委託料で二百六十五万円を債務負担行為の補正としてお願いし、昭和五十六年度工事と合わせて契約を締結しようとするものであります。

以上、提案理由について御説明申し上げましたが、いずれの案件も急施を要するものでありますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（林 豊君） 以上で提案理由の説明を終わります。

質 疑 応 答

○議長（林 豊君） これより各議案の審議を行います。

まず、議案第五十三号財産の取得についてを御質疑をお願いします。○七番（古賀礼四郎君） 二件ばかりお尋ねをいたします。

このコミュニティセンターそのものについて、最初の計画から、田園都市構想計画、リージョンプラザから、だんだん移ってきて、当市単独の事業になってきたということの経過がございます。それについて、リージョンプラザの計画の場合のときと当市独自でやる場合の損得、そういうものを具体的に説明いたしたいと思えます。

それから、総額で大体どの程度を予定しておられるか。完成の晩——土地の取得、買収から建物を建設するまでの総額を——大

体二十七億とか三十億とか聞いておりますんですが、大体現在のところでの程度を予定しておるのか、その点もお答え願いたいと思います。

それから、もう一件は、このコミュニティセンターができ上がりました、要するに事業主管課といいますが、どういうところで――民間に委託される事業だと思いますが、計画から完成に至るまで、あらゆる方面、各四省庁からの補助をもらうわけですから、各部課で入りますと思うんです。民生部の所管にすれば社会開発課だし、現在はほとんど公室のほうで計画されておるようですが、で上がった時に――また、公民館事業とすれば教育委員会のほうの所属になりますのでしゅうし、そういう点で事業を統括される部課は現在の段階ではどが主体になってやっているのか。その点をお尋ねしたいと思います。

以上、二件について。

○市長公室長（斎藤武男君）　まず、一点目のコミュニティ会館の建設の補助金関係の比較でございます。

各省によりますところの補助金からまず申し上げたいと思いますが、中央公民館関係につきましては、防衛庁関係でございます。いまの時点の積算でございますので、若干相違が出てこようかと思いますが、いまの時点の積算ということでひとつ御承知いただきたいと思えます。中央公民館の関係につきましては一億二千六百六十万円でございます。北条地区公民館関係につきましては七千二十万円でございます。この関係につきましては防衛庁の関係でございます。それから保健センターでございますけれども、これは厚生省関係で千七百万円でございます。それから青少年ホ

ームの関係でございますが、これは労働省の関係でございます。六千万円でございます。それから今後予定しております文化会館の関係でございますが、これが一億三千六百万円ということで文化庁の関係を予定しております。以上合わせまして四億九百八十万円の補助金を予定しておるわけでございます。

それから、リージョンブラザの関係では、複合施設ということで、策定費の補助金千八百万円を含めまして二億六千八百万円から三億一千八百万円というようにございまして。

さらに、申し上げますと、各省からの補助金を受けた場合の起債の率は七・五％ということで低いわけでございます。償還年限も二十五年ということで長い、有利ということであるわけでございますが、リージョンブラザの補助金を受けた場合には八・一％、十年償還というようになっております。

総額の関係でございますけれども、現在予定しておりますのが、建物の関係では、中央公民館が三億五千六百四十四万二千円でございます。それから北条地区学習等供用施設の関係でございますが、これが一億三千六百八十八万九千円でございます。それから勤労青少年ホームの関係でございますが、一億二千三百九十五万円でございます。保健センターでございますが、一億二千六百十五万四千円でございます。文化ホールにつきましては約八億ぐらいということとで考えておりますが、大体総額十五、六億ぐらいということで、これは建物関係であります。それに先ほど申し上げました造成関係、土地購入関係がプラスされてくるものが予想される数字でございます。

主管課の関係につきましては、現在複合施設でございますので、

公室が窓口になりました、一応防衛庁でございまして、各省の関係のいわゆる折衝してございますけれども、それぞれの担当課があるわけでございますので、合同の会議をもちまして、それぞれ手分けをしながら、できるまでの間、そういうような施設の関係につきまして関係課ともども、窓口はうちのほうでやっておりますけれども、仕事の内容についてはそれぞれ関係課で責任を持ちながら、連絡調整を図りながら現在進めておる状況でございます。

あとの管理につきましては、それも全体計画の中でさらに詰めてまいりたいというふうに考えております。

○七番（古賀礼四郎君）　そうしますと、起債が七五〇でしようから、一般財源から本当に出るお金ぐらいいは、これは幾らぐらいになりましょうか。当市の一般財源から出る金額ですね。

それと、もう一つ。こういう大きな事業ですから、やはりプロジェクトチームなんかつくられてやられる御計画があるかどうか。その点についてもお尋ねいたします。

○市長公室長（斎藤武男君）　一般財源でございましてけれども、現在予定しておりますのが、七億一千二百五十七万二千元というところで一般財源をいまのところ予定しております。

コミュニティセンター関係のプロジェクトというものを現在つくりまして、鋭意その中でいろいろ協議をいたしております。

○七番（古賀礼四郎君）　了解しました。

○議長（林　豊君）　他に御質疑ございませぬか。

○一番（神田守隆君）　今度の買収予定の中で未買収地がありますけれども、この未買収地について今後の買収の見込み、予定、こ

れはどういうふうにお考えであるか御説明願いたいということ。それから、さしあたって埋め立て工事等するうえで、Aブロック、Bブロックという話がありますけれども、小さな土地でございしますが、一部未買収地がありますけれども、これについては具体的に差しさわりのないかどうか。この点についてお伺いいたします。

○市長公室長（斎藤武男君）　未買収地につきましては、地権者が二名ということで、そのうち一名につきましては地権者が不明というところで、現在耕作している者が法的な手続きをいたしまして、弁護士さんが入りまして、いま進めているところでございます。したがって、これが解決すれば早速買収ということになるかと思っております。

それから、もう一件の財産相続の関係でいろいろ法的な関係があるわけでございますけれども、これにつきましても、私どもがそういうような内容にはとてもタッチできる事柄ではございませんけれども、いろいろ、ひとつ市もこういう計画を持っておりまして何とか早い機会に結審ができますようにというよりなお願いはしているところでございますが、ちょっといまの時点では言えませんけれども、長くて二、三年くらいだろうという方もおりますし、来年ぐらいに解決するんではなからうかな、それぞれの立場によりまして解釈の仕方が違うわけでございますが、そんな程度の情報をいただいております。

それが解決次第早速——現在耕作している方もそれが解決すれば協力を申し上げたいというような状況になっております。あくまでも裁判の結果を、一日も早く終わって、御協力いただきたい

というようお願いしておるわけでございます。

AブロックとBブロック、先ほど申し上げましたけれども、大体がBブロックのほうの関係については、未買収が入っておりますけれども、現在の段階ではあの予定しておりますコミュニティセンターのいわゆる建物関係については支障はない、先ほど申し上げましたようにあいう形でございますので支障はないということでは現在考えております。

○一番(神田守隆君) 二、三年、あるいは来年とか、いろんな意見があるということでございますが、裁判にかかる問題でございますから、確たる返事がいただけないのは大変残念なんですけれども、この点については、これ以上できないということについては一応了承いたします。

具体的に、非常にわずかな土地ですけれども、ありますけれども、今度の造成の中にはそういう土地を残してやる、その土地については造成をしないというんですか。

○市長公室長(斎藤武男君) 申し上げましたように、一応埋め立て期間が約一年近くかかるということでございます。ですから、その間に、いま進行中でございますので、そう問題がございませんので、埋め立てができるという見通しに立っております。

○議長(林 豊君) 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終わります。

委員会付託の省略

○議長(林 豊君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託並びに討論省略、直ちに採決する

ことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。

採 決

○議長(林 豊君) よってこれより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第五十四号昭和五十六年度館山市一般会計補正予算について御質疑を願います。御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終わります。

委員会付託の省略

○議長(林 豊君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。

採 決

○議長(林 豊君) よってこれより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

閉

会 午前十一時二十分閉会

○議長（林 豊君） 以上で本臨時会に付議されました案件は議了されました。

よってこれにて第四回市議会臨時会を閉会いたします。

○本日の会議に付した事件

一、 会議録署名議員の指名

二、 会期の決定

三、 議案第五十三号及び議案第五十四号

地方自治法第二百二十三条第二項の規定により署名する。

館山市議会議長 林

豊

館山市議会議員

石

井

昌

治

館山市議会議員

五

十

嵐

昇

